

一般社団法人 福岡県社会保険医療協会
社会保険田川病院 広報誌

地域医療支援病院
地域がん診療連携拠点病院
開放型病院
基幹型臨床研修病院（医師）
管理型臨床研修施設（歯科医師）
日本医療機能評価機構認定病院

あ ぞ ら

特集 『がんのこと、どこで相談すればいい？』



がんのこと、 どこで相談 すればいい？



がんは現在日本人の二人に一人はかかると言われており、自分は大丈夫という考えは捨て、がんにも備えなければならない時代になっています。
そしていざがんに向き合うことになった時、様々な悩みや疑問を誰にも話せず不安になることもあるかもしれません。そんな時は決して一人で悩まず全国のがん診療連携拠点病院に設置されている“がん相談支援センター”へ相談して下さい。がん専門相談員があなたの気持ちや思いに耳を傾けることから支援を始めます。

■がん診療連携拠点病院

がん診療連携拠点病院とは、厚生労働省が全国どこでも質の高いがん医療を提供することができるよう、全国にがん診療連携拠点病院を401箇所、地域がん診療病院を36箇所、指定したものです。専門的ながん医療の提供、地域のがん診療の連携協力体制の整備、患者・住民への相談支援や情報提供などの役割を担う病院として、国が定める指定要件を踏まえて

都道府県知事が推薦したものについて、厚生労働大臣が適当と認め指定した病院です。そして、がん診療連携拠点病院等には左記の種類と役割があります。福岡県ではがん診療連携拠点病院等として19箇所、飯塚医療圏は飯塚病院、田川医療圏では当院社会保険田川病院が指定を受けています。

※2次医療圏とは…厚生労働省が、医療法に基づいて、地理的なつながりや交通事情などを考慮して一定のエリアごとに定めたもの。一般的に1次医療圏は市町村、3次医療圏は都道府県全域をさす。

①「都道府県がん診療連携拠点病院」

各都道府県で中心的役割を果たします。
【福岡県内】九州大学病院・九州がんセンター

②「地域がん診療連携拠点病院」

都道府県内の各地域（2次医療圏^{*}）で中心的な役割を果たします。
【福岡地区】九州医療センター、福岡東医療センター、福岡済生会福岡総合病院、福岡大学病院
【北九州地区】産業医科大学病院、JCHO九州病院、北九州市立医療センター
【筑後地区】大牟田市立病院、久留米大学病院、聖マリア病院、公立八女総合病院
【筑豊地区】飯塚病院、社会保険田川病院

③「地域がん診療病院」

がん診療連携拠点病院が無い地域（2次医療圏）に、基本的に隣接する地域のがん診療連携拠点病院のグループとして指定され、拠点病院と連携しつつ、専門的ながん医療の提供、相談支援や情報提供などの役割を担います。
【福岡地区】福岡大学筑紫病院
【筑後地区】朝倉医師会病院

④「特定領域がん診療連携拠点病院」

特定のがん種について、都道府県で最も多くの診療実績があり、都道府県内拠点的作用を果たす病院です。

⑤「小児がん拠点病院」

小児がんの医療および支援を提供する地域（近隣都道府県を含む）の中心施設として、地域における小児がん医療および支援の質向上の牽引役を担います。
【福岡県内】九州大学病院

⑥「県指定がん診療連携拠点病院」

地域内で中心的役割を果たすよう、各都道府県が指定した病院です。
【福岡地区】浜の町病院
【北九州地区】戸畑共立病院

がん診療連携拠点病院等の種類と役割（青字は県内の指定病院）

■がん相談支援センター

がん相談支援センターとは、全国の「がん診療連携拠点病院」や「小児がん拠点病院」「地域がん診療病院」に設置されている、『がんに関するご相談の窓口』です。

患者さんやご家族のほか、地域の方々どなたでも無料でご利用いただくことができ、がんに関する治療や療養生活全般、地域の医療機関などについてを相談することができます。ただ、あなたの担当医に代わって治療について判断するところではありませんので、ご注意ください。

多くのがん相談支援センターでは、がんについて詳しい看護師や、生活全般の相談ができるソーシャルワーカーなどが相談員として対応しています。

■がん専門相談員

がん専門相談員とは、がん相談支援センターには必ずいる専門家で、がんに関するさまざまな疑問や悩みごとの相談を受ける相談員のことです。

がんの相談対応について国から指定された研修を受けています。

「がん相談支援センター」にご相談できることの例

検査・治療・副作用

- ・自分のがんや治療について詳しく知りたい
- ・担当医から提案された以外の治療法がないか知りたい
- ・セカンドオピニオンを受けたいが、どこに行けばよいか

家族との関わり

- ・家族にどう話していいかわからない
- ・家族の悩みも相談したい

医療者とのコミュニケーション

- ・担当医の説明が難しい
- ・医療者に自分の疑問や希望をうまく伝えられない
- ・何を聞けばよいのかわからない

緩和ケア

- ・地域で緩和ケアを受けられる病院はあるか
- ・治療を続けながら緩和ケアを受けるにはどうしたらよいか

経済的負担や支援について

- ・活用できる助成・支援制度、介護・福祉サービスを知りたい
- ・介護保険の手続きを知りたい
- ・仕事や育児、家事のことで困っている

がんの予防や検診について

- ・がん検診はいつ、どこで受けられるか
- ・がん検診で再検査の通知がきて不安でたまらない

社会との関わり

- ・病気について、職場や学校にどのように伝えればよいか
- ・仕事を続けながらの治療はできるか

患者さんやご家族の心のこと

- ・気持ちが落ち込んでつらい
- ・思いを聞いてもらいたい

療養生活の過ごし方

- ・治療の副作用や合併症と上手に付き合いたい
- ・自宅で療養したい

■がん専門相談員の役割

生活のことや、治療や療養に伴う疑問や不安を誰かに話すことには抵抗があるかもしれません。また、相談した内容が他者に知られてしまうことへの心配もあるかもしれません。しかし、ご相談いただいた内容が、あなたの同意なしに他者に知られることはありません。

また、匿名でのご相談も可能です。「相談をすると、担当医の先生がよく思わないのでは」と心配される方もいらっしゃいます。そんなときは、そのご不安を含めて、相談員にお話してください。相談員が、そのお気持ちに配慮をしながら、相談にあたらせていただきます。

がん専門相談員は…

- ・あなたの理解を助けます
- ・あなたとご一緒に探します
- ・あなたに合った情報を提供します
- ・あなたの心を支えます
- ・あなたの生活を支援します
- ・あなたの家族も支えます

■がん相談員のご紹介

当院でがん相談員として働くお二人に、相談員になったきっかけや、がん相談窓口についてお話を伺いました。

看護師になったきっかけは？

末永) 中学・高校で進路を考える人は少ない時代でしたが、今後は女性が社会進出していくという考えが増えた頃でした。学校に行きながら資格の取れるのはなんだろうと考えた時に選んだ道が看護師でした。

織田) 高校進学の時、衛生看護科があることを知り自然と行ってみたいという気持ちになりました。私の母も「これからは女性も職を持っていく方がいい」と言っていて応援してくれたので進学しました。そこでの看

護の勉強が面白く、そのまま抵抗なく正看護師になる為の専門学校に行き、資格を取りました。

なぜ『がん相談』の道に進んだか

織田) 社会保険田川病院にがん相談支援センターを作ることになった時、上司に「がん相談の研修を受けないかと」声をかけていただいて、もともと新しいことを勉強することが好きだった性格もあり受けたのがきっかけです。

末永) 地元の田川に戻って仕事を探している時、社会保険田川病院に相談窓口というものが出来ることを知り相談員として窓口に入ったのち、がん相談員の研修のお話をいただきました。肝臓がんで父を亡くした時、何もできなかったという想いもあり、地域の患者さんやご家族の立場に寄り添うことが出来ればと研修を受けさせていただきました。

『がん相談』に携わってきて印象に残っていること

末永) 皆さん自分の病気を受け入れられて前向きに治療を行っていることです。すごくショックを受け困惑されると思うのですが、明るくお話しされ、こちらが元気をいただくことが多いです。今は得られる情報や治療の選択肢も増え、昔とは

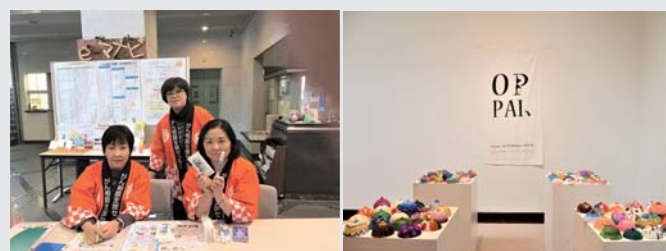
がんに対するイメージが変わっていることも背景にあるのかなと思います。

織田) 昔から変わらない印象なのは、患者さんは私たちが思っている以上に医療者に配慮されていることです。「皆さん忙しいので…」と聞きたいことがあっても遠慮される方が多く、分からないことがある時はどんどん聞いて下さいとお伝えするのですが、それでも気を遣ってくださる方がいらっしやいます。しかし、分からないことが増えると不安の種も増えてしまいます。急性期の病院なので立ち止まってゆっくり話すことが出来ない状況もあるかと思っています。そんな時にこそ私たち相談員にお声掛けいただけたらと思います。

『がん相談』窓口について

織田) 私たちの役目は、患者さんに合った答えを患者さん自身が導き出せるようにお手伝いをさせていただくことです。患者さんのお気持ちやお話を聞いて、ご自身が一番良いと思える選択が出来るようサポートしていきます。

ただ私たち相談員は、正しい情報を知ってもらい判断していただく「お手伝い」はできても、「問題解決の為にこうしましょう」と提案し積極的に問題解決に導くことはしません。やはりご自身に合った答えは、その方自身にしか導き出せないのです。だからこそ、私たちは患者さんと色々な



筑豊地区の『がん相談』窓口を気軽にご利用いただくため、そして知っていただくために、飯塚医療圏の地域がん診療連携拠点病院である飯塚病院と協同して田川市と飯塚市の「図書館まつり」に出張相談窓口を開設しました。また、先日開催された乳がんの啓蒙活動も目的にした現代アート展覧会「OPPAI」においてもパネルの掲示、出張相談を行いました。

お話をして考えを聞かせていただきます。自分のことを人に話す過程のなかで問題が整理できたり気づくことがあって、それが解決に繋がることがあります。また、話すことにより気持ちがスッキリして、精神的に落ち着くことができる方もいらっしやいます。その方にとって必要な情報を提供させていただきます。これからのことを一緒に考えていきたいと思えます。

※がん相談支援センターは当院内にありますが、他の病院におかかりの方やご家族はもちろん地域の方々を含めどなたでもご利用いただけます。誰かに話すことで解決できることもあります。お気軽に相談窓口までお越しください。



おだ 久美子 がん相談支援専門員/主任看護師
すえなが 末永 ひろみ 患者相談部/看護師

ふれあい講座 開催

10月20日(土)、『ふれあい講座(市民公開講座)』を開催しました。22回目となる今回は「患者・家族参加の医療安全くみみんなで防ごう!医療事故く」をテーマに、当院の医療安全専従セーフティマネージャーである黒川副看護部長が講師を務め講演させていただきました。一般的には聞き慣れない言葉『医療安全』の意味からご説明させていただき、実際に当院で発生している事例をご報告、それに対し実施している対策や当院の医療安全活動についてご紹介させていただきました。講演の途中、転倒しないための簡単な体操をみんなで行うなど、終始和やかな雰囲気でした。

今回足を運んでくださった地域の皆さま、ありがとうございました。



院内学術集会 開催

11月10日(土)、『第6回社会保険田川病院院内学術集会』を開催しました。学術集会は発表者自身の成長と事例の共有・討議を目的に年1回開催しています。今回は、院内外から医師をはじめさまざまな職種から全部で9題の多岐にわたる研究成果が発表されました。発表後には活発な意見交換もなされるなど、職種の壁を越えてさまざまな事例を共有することができ、チーム医療の推進にとって非常に有意義な学術集会となりました。

今後もより良い医療を地域の皆さまに提供できるよう、職員一同、研鑽に努めてまいります。



発表部署・演題一覧

<p>【メディカル】 検査課・形成外科 栄養科 転倒転落事故防止隊</p>	<p>鼻骨骨折整復前後における超音波検査の使用経験について 聴覚障害者に対する継続的な栄養指導の取り組み 医療安全：転倒・転落事故防止隊活動報告 ～患者、家族参画型の転倒転落事故防止への取り組み～</p>
<p>【看護】 西1階病棟 東3階病棟 外来</p>	<p>妊娠期から育児期における切れ目ない支援 ～助産師外来で発見された社会的ハイリスク妊婦の支援に苦慮した1症例～ 患者家族の思いに寄り添った退院支援を目指して～自部署の退院支援の現状報告～ 安全に化学療法を行うための教育体制を模索して～リンクナース育成～</p>
<p>【医局】 外科 外科 脳神経外科</p>	<p>高齢者大腸癌患者の術後合併症予測因子 -CONUT score を用いた解析 - 当院における腹腔鏡下胃全摘術の食道空腸吻合方法の選択 非外傷性後頭蓋窩急性硬膜下血腫の3例</p>

NST特別講演会 開催

11月9日(金)、医療従事者を対象に「第12回NST特別講演会」を開催。院内外から106名の方が参加されました。

まずは、当院のNST(栄養サポートチーム)の現状についてご報告をさせていただきました。次に、特別講演では講師に田川市立病院腎臓内科医長の 大仲正太郎先生をお迎えし、『腎臓病臨床の最新動向』「CKD診療ガイドライン2018」を踏まえて」と題し、CKD(慢性腎臓病)の定義、透析の実態、生活習慣病との関連性など盛沢山の内容を詳しく、そして分かりやすく解説していただきました。

特に「田川地区CKD・糖尿病予防連携システム」の取り組みを通じて、生活習慣病を改善し透析患者の方を減らしたいという大仲先生の熱い思いがとても伝わってくる講演で、参加者からも「とても勉強になり、また先生の気持ちが伝わってくる講演会でした」などの感想をいただきました。



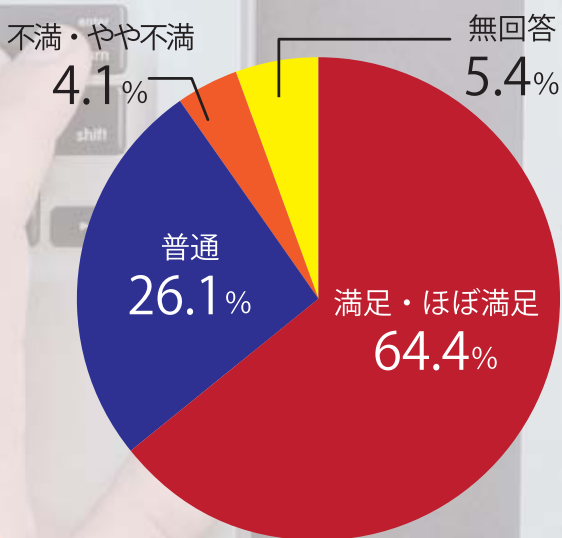
■ 外来患者さん満足度調査結果報告 ■

調査日:1回目…9/10(月)、2回目…10/23(火)
アンケート回収数…464枚、回収率…73.3%

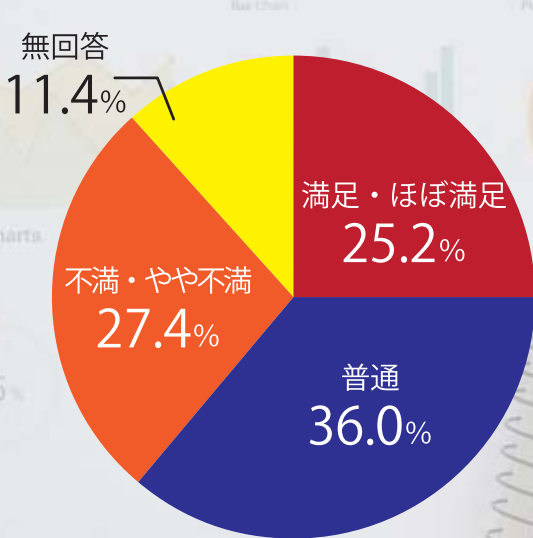
当院を選ばれた理由は何ですか？

- 第1位 14.0% 「かかりつけ医がいる」
- 第2位 12.9% 「自宅、職場、学校から近い」
- 第2位 12.9% 「他院からの紹介」
- 第4位 10.9% 「専門医がいる」
- 第5位 10.7% 「信頼できる医師がいる」
- 第6位 6.9% 「親切だから」

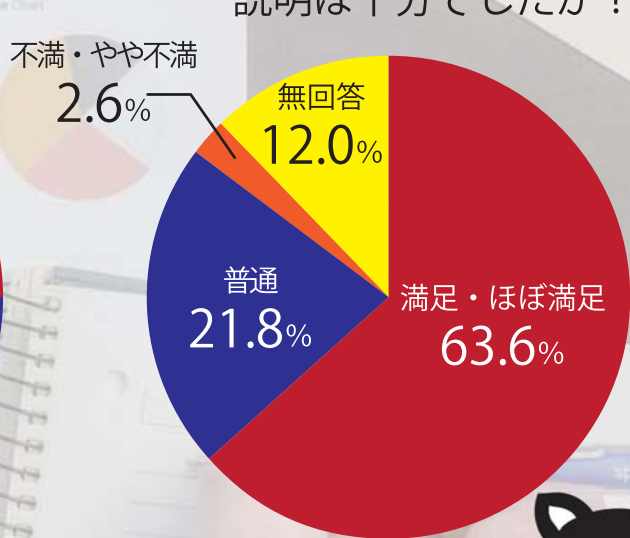
●看護師の対応はいかがですか？



●待ち時間はいかがですか？



●医師の病状についての説明は十分でしたか？



外来満足度調査を行うにあたりご協力いただいた皆さん、誠にありがとうございました。
今回お答えいただきました「当院の良い点・悪い点」を院内の患者サービス委員会で十分に検討し、より一層満足していただける医療サービスを提供できるよう改善していきたく思います。
今後とも、ご指導・ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いたします。

お薬見聞

okusuri kenbun

薬剤師 勝木浩平

みなさんは「ポリファーマシー」という言葉をご存知でしょうか？

「ポリファーマシー」は、「Poly」(多くの) + 「Pharmacy」(調剤)で多くのお薬ということですが、多くのお薬を服用すること(多剤併用といいます)により副作用などの有害事象を起こすことです。誤解してはならないのが、多剤併用が決して悪いということではありません。たくさんお薬を服用していても特に問題がなかったり、服用しているすべてのお薬が必要な場合もあるでしょう。ただ、多剤併用により飲み合わせの悪いお薬を服用したり、お薬の飲み忘れや飲み間違いを起こしやすくなることで、予測不可能な有害事象が起こる可能性も高まります。

ではこの問題を解決するにはどうすればよいのでしょうか？単にお薬を減らせばよいのでしょうか？

重要なのは「ポリファーマシー対策」
「薬を減らす」ではないということです。
みなさんの病気や生活状況、さらにはみなさんの意向も含めて、本当に必要な薬はしっかり服用し、減らすべきお薬はきちんと減らして、もっとも適切な薬物療法を実践していくことです。

お時間がある時に、一度ご自分が服用されているお薬を見直してみてください。
一時的な症状のために処方されたお薬を、減らさないと服用していませんか？お薬を減らしたいなと思ったら、お薬を減らしたい意向を医師に伝え、可能であれば医師の指示のもと、お薬を減らしていきましょう。間違っても、自己判断で勝手に服用を中止することはやめてください。

適切な薬物療法で、副作用のない快適な毎日を送りましょう。



地域医療連携システム

C@RNA connect

医療関係者の皆さまへ

C@RNA connect (カルナ コネクト) は、診療所と当院をオンラインで接続し、検査予約業務を効率化し、患者さんと医師の負担を軽減します。

検査結果をすぐに確認可能
診察しながら、その場で予約可能
24時間いつでもオンライン予約可能

【予約できる検査】

CT 検査 (64 列)・MRI 検査 (1.5 テスラ)・骨密度測定・各種エコー・内視鏡検査

【導入コスト】

無料 (インターネットに接続可能な PC があれば利用できます)

導入をお考えの診療所さまは、
当院の地域医療連携室までお問い合わせ下さい

検査内容の選択、患者情報などの入力だけで OK !

地域医療支援センター連携室 TEL0947-44-0474 FAX0947-44-0559

文化祭作品展 開催の御礼

11月12日(月)～11月16日(金)までの5日間にわたり、毎年恒例の文化祭作品展を開催しました。患者さんや地域の皆様、職員による力作が出展され、会期中は沢山の方にご来場いただきました。絵画、写真、書、ちぎり絵、手芸品など趣向を凝らした作品の数々で、来場された方からも「また今年も見られて嬉しく思いました。来年も楽しみにしています」「バラエティーに富んだ作品展で楽しく拝見しました。」といった多くのご意見をお寄せいただきました。



今回作品を出展していただいた皆さま、ご来場いただいた皆さま、本当にありがとうございました。来年もたくさんの方のご来場と、素晴らしい作品の出展をお待ちしています！

社会保険田川病院 OB 探訪記

私は平成2年から5年まで足かけ3年ほど社会保険田川病院に勤務させていただきました。3年という短い期間ではありましたが、大学病院とは違った、地域の第一線病院での勤務は私にとって大変貴重な経験でした。当時を振り返ってみると、早朝の抄読会(勉強会)にはじまり午前中は外来診療または検査(内視鏡検査、腹部超音波検査、消化管造影検査)、午後は血管造影など入院患者さんの検査・治療、病棟回診、夜は夕食後にレントゲン検査や内視鏡検査の1週間分のダブルチェック(皆で全部の画像を再度見直すこと)を行い、さらに週1回は当直業務など、多忙極まる生活でした。休日や拘束(オンコール)の時は、当時最新のポケットベル(当時は携帯電話などありません)を肌身離さず携帯し、急変や急患に備える日々でした。また、私の勤務期間中に、母の早期胃がんが見つかり、社会保険田川病院外科で手術を受け完治したのも強く記憶に残っております。

3年間の勤務の後、平成5年からは田川市東町(夏吉262-7)の後野医院で地域医療に従事させていただいております。私が社会保険田川病院を離れた後も、当院から手術や専門的治療を必要とする患者さんの紹介のほか、救急患者さんの受け入れ、CT・MRI検査の依頼など、社会保険田川病院とは緊密な連携を組ませてもらっています。難病、救急疾患などでは迅速な社会保険田川病院の対応で当院の多くの患者さんが救われました。さらに、私ごとになります。高齢となった両親は年に1回は種々の疾病で内科、外科、脳外科などにお世話になっています。私自身も数年前腹膜炎で外科に入院し適切な処置で手術することなく早期退院できました。この場を借りまして改めて御礼申し上げます。

今後のことですが、私自身も64歳となり、既に高齢者の仲間入りです。今後少しでも長く第一線で働けるように各種学会、講習会で研鑽を積むとともに、週2回は田川市のジムに通って身体能力の向上を目指しています。最後に、私の古巣である社会保険田川病院は、地域で診療に従事している私にとって現在でも大きな心のよりどころとなっております。今後も社会保険田川病院の地域医療に対する貢献と益々の発展を願ってやみません。



医療法人恭和会 後野医院

住所 田川市夏吉 262-7
TEL 0947-44-0399
FAX 0947-44-0957

【診療科】
内科 / 消化器科 / 胃腸科 / 小児科

【診療時間】
月～金 9時00分～12時00分
14時00分～18時00分
(15時00分～16時00分は往診中)
※木曜・土曜は12時30分まで

【休診日】
日・祝日



副院長 後野嘉宏

第5回

■ 社会保険田川病院 診療医案内

診療受付時間 / 8:30~11:00 (急患はこの限りではありません)

平成30年12月1日現在

診療科			月	火	水	木	金	土	
内科	消化器	新患	向坂 健秀	板野 晋也	佐々木 優	伏見 崇	大園 太貴	交代で診察	
		再来 (予約)	前川 隆一郎	佐々木 優	板野 晋也	大園 太貴	向坂 健秀		
	呼吸器	新患・再来	大園 太貴	-	-	重藤 宏太 (非常勤)	伏見 崇		
		循環器	新患・再来	向野 達也	-	小田 華子 (非常勤)	向野 達也		坂崎 優樹 (非常勤)
			新患・再来	翁長 春貴 (非常勤)	赤垣 大樹	大塚 昌紀 (非常勤)	赤垣 大樹		柴田 龍宏 (非常勤)
内分泌 糖尿病	新患・再来	安田 淳一	梶島 正治 (非常勤)	中村 慎太郎 (非常勤)	安田 淳一	安田 淳一	岡本 実里 (第1,3,5) (非常勤) 小宮 真理子 (第2,4) (非常勤) 山下 真 (第1,3,5) (非常勤)		
		-	曾我 理香	曾我 理香	-	曾我 理香			
小児科	新患・再来	荒木 潤一郎	荒木 潤一郎	荒木 潤一郎	石井 隆大 (非常勤)	荒木 潤一郎	荒木 潤一郎		
外科	新患・再来	田中 裕穂	弓削 浩太郎	田中 裕穂	吉田 武史	木崎 潤也	木崎・弓削・吉田 (交代で診察)		
	再来 (予約)	高橋 龍司	古賀 史記 木崎 潤也	堀尾 卓矢	門屋 一貴	-			
	乳腺専門	新患・再来	-	-	-	-	高橋 龍司	-	
整形外科	新患・再来	吉川 英一郎	江島 健一郎	吉川 英一郎	吉川 英一郎 (第1,3)	江島 健一郎	交代で診察 ※受付は10時まで。		
		江島 健一郎	久能 義史 (非常勤)	-	江島 健一郎 (第2,4)	-			
	再来 (予約)	高見 諒太	-	-	高見 諒太	-			
(注)土曜日の受付は10時まで		-	吉川 英一郎	吉川 英一郎	吉川 英一郎 (第1,3) 江島 健一郎 (第2,4)	江島 健一郎	-		
脳神経外科	新患・再来	川場 知幸	川場 知幸	川場 知幸	川場 知幸	-	川場 知幸 笹平 俊一 ※土曜日は新患の受付はありません。		
		笹平 俊一	笹平 俊一	-	笹平 俊一	笹平 俊一			
産婦人科	新患・再来	藤井 毅	非常勤医師	黒松 肇	桃崎 正啓	藤井 毅	休診		
	産科 (予約)	助産師外来	黒松 肇 15:00~非常勤医師	藤井 毅 助産師外来	助産師外来	桃崎 正啓			
	婦人科 (予約)	黒松 肇	桃崎 正啓	桃崎 正啓	藤井 毅	黒松 肇			
泌尿器科	新患・再来	宮島 次郎	宮島 次郎	綾塚 仁志 (非常勤)	宮島 次郎	宮島 次郎	休診		
	紹介患者	宮島 次郎	宮島 次郎	宮島 次郎	宮島 次郎	宮島 次郎			
皮膚科	新患・再来	御厨 賢	御厨 賢	辛島 正志 (非常勤)	御厨 賢	御厨 賢	休診		
形成外科	新患・再来	森 成一郎	森 成一郎	森 成一郎	休診	森 成一郎	森 成一郎		
耳鼻咽喉科	新患・再来	大淵 彰之	大淵 彰之	大淵 彰之	休診	大淵 彰之	大淵 彰之		
		大学医師 (非常勤)	大学医師 (非常勤)	小野 剛治 (非常勤)		進 武一郎 (非常勤)	大学医師 (非常勤)		
眼科	新患・再来	坂井 貴三彦	坂井 貴三彦	坂井 貴三彦	坂井 貴三彦	坂井 貴三彦	坂井 貴三彦		
		-	大学医師 (非常勤)	大学医師 (非常勤)	-	大学医師 (非常勤)	※土曜日は、予約患者、紹介患者のみ		
歯科口腔外科	新患・再来	寺崎 伸一郎	寺崎 伸一郎	寺崎 伸一郎	寺崎 伸一郎	寺崎 伸一郎	交代で診察		
		坂田 信一郎	坂田 信一郎	坂田 信一郎	坂田 信一郎	坂田 信一郎			
		-	大学医師 (非常勤)	塚本 秀行 (非常勤)	久保田 貴倫子 (非常勤)	-			
精神科・メンタルヘルス科	新患・再来 (完全予約制。新患の方は紹介状が必要です。)	大島 勇人 (非常勤)	休診	植木 悠介 (非常勤)	小林 雄大 (非常勤)	沈 龍佑 (非常勤)	休診		
緩和ケア科	新患・再来 (完全予約制)	柳瀬 豊	-	-	-	田中 裕穂	-		
放射線診断科	読影(診察なし)	植山 敏彦	植山 敏彦	植山 敏彦	植山 敏彦	植山 敏彦	-		
放射線治療科	新患・再来	-	-	江藤 英博 (非常勤)	-	宮田 裕作 (非常勤)	-		
麻酔科	手術(診察なし)	柳瀬 豊	柳瀬 豊	-	柳瀬 豊	柳瀬 豊	-		
		金子 真也	金子 真也	金子 真也	-	金子 真也	-		
健診	-	月脚 克彦 (非常勤)	田中 裕穂	植山 敏彦	前川 隆一郎	月脚 克彦 (非常勤)	-		
老年内科	療養病棟専従 (診察なし)	橋本 光孝	橋本 光孝	橋本 光孝	橋本 光孝	橋本 光孝	-		

(注) 歯科口腔外科の診療受付時間 平日 (午前) 8:30~11:00 (午後) 13:30~15:00

※ただし、午後の受付は紹介患者さんのみ。また、木曜日の午後については手術のため休診とさせていただきます。

(注) 眼科の診療受付時間 火曜日と金曜日は手術のため8:30~10:00までです (それ以外の曜日は11:00まで)。

また、眼科は土曜日は予約患者さんと紹介患者さんだけの診療といたします。

(注) 整形外科の診療受付時間 土曜日のみ 8:30~10:00までです。(それ以外の曜日は11:00まで)

(注) 緩和ケア科は完全予約制です。(診療時間14:00~17:00)

(注) 助産師外来は完全予約制です。(診療時間 9:00~16:00)

■ 診療受付時間 8:30~11:00 (急患はこの限りではありません)

■ 時間外診療 時間外に来院される場合には、必ず事前に電話連絡し、診療出来るか否かを確認のうえ 来院してください。緊急を要する患者さん優先のため、

場合によってはお断りする場合がございます。※小児科については、時間外、及び休日の診療は行っておりません。

■ 面会時間 平日/午後2:00~午後8:00まで、日曜・祝日/午前11:00~午後8:00まで

■ 書類確認・予約変更 お電話は、平日/午後2:00~午後5:00、土曜/午前8:30~午後12:30まで



ふるたん

医療理念

満足、安心、信頼を持たれる病院をめざし、地域社会、地域住民に良質な医療を提供する。

- 患者中心の医療
- 医療の質の向上
- 地域社会にあった手づくりの医療
- 安心と信頼を持たれる病院づくり
- 経営の安定と職員満足度の向上

社会保険田川病院 広報誌

あおぞら

vol.62 2018年12月発行

●編集発行 社会保険田川病院 広報委員会 経営企画課
〒826-8585 福岡県田川市上本町 10-18 TEL 0947-44-0460 FAX 0947-45-6540
(地域医療支援センター) TEL 0947-44-0474 FAX 0947-44-0559
URL <http://www.s-tagawa-hp.tagawa.fukuoka.jp/> Email syomuka@s-tagawa-hp.tagawa.fukuoka.jp